



瀬戸小だより

ふれ合う 認め合う 共に学ぶ 笑顔あふれる瀬戸ヶ谷小学校

mail:y3setoga@edu.city.yokohama.jp http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/setogaya/

学校だより 2月号
令和4年1月31日
横浜市立瀬戸ヶ谷小学校
校長 松永 淳子
TEL 713-83336 FAX 713-9749

瀬戸ヶ谷小学校

検索

「GIGA」な子どもを育てる

副校長 大久保 作織

昨年末に校庭の木を剪定し、職員室から校庭がよく見えるようになりました。職員室前の木は少し寒そうですが、枝にシジュウカラがとまっていることもあります。さっぱりとしたヒマラヤ杉の下では、フラワーボランティアの方が植えてくださった色とりどりのパンジーが陽を浴びています。木々や花を見ている間は、コロナの猛威をひととき忘れることができます。

さて、横浜市の「GIGA スクール構想※」により、本校の子どもたちにも、一人一台のタブレット端末が配当されています。

※ GIGA = Global and Innovation Gateway for All (「すべての人が世界の様々な技術革新を利用できるようにする」といったような意味)



先日あるクラスを覗きますと、算数の学習中でした。子どもたちはタブレット端末を器用に操作し、「画面に映った教科書」のページを拡大したり縮小したりしながら答えを書き込んでいます。間違えたらすぐに消すことができますし、正解であれば「赤いペン」に換えて○を付けることもできます。それをいとも簡単そうに「学習用具」として扱っている様子に、時代の流れを感じ

ました。別の学年で、図形に書き込みをして学級のテレビに映し、考え方を発表している授業を見たこともあります。もちろん、算数以外の教科やチャレンジ（総合的な学習の時間）でも、学年に応じてタブレットを活用しています。

もし今後感染症の拡大が収まらず、家庭学習を余儀なくされたときのために、各家庭でロイロノート・スクールを使って学習ができるよう準備も進めています。子どもたちは、Google meet というリモートのためのアプリを使って「朝の会」に参加し、健康観察や発言をする学習をしました。今年の授業参観週間は残念ながら中止となりましたが、感染状況が収まりましたら、ICT 機器に親しむ子どもたちの様子を保護者の皆様にも見ていただきたいです。



このように、瀬戸ヶ谷小学校もだんだんと「GIGA スクール」へと成長しています。ICT 機器は本当に便利な学習用具ではありますが、使うときに気を付けるべきことが多くあります。いろいろな約束の中でも、学校では特に人を傷つけるような行為をしないよう伝えています。

情報モラルを守り、ICT 機器を適切・安全に使いこなしながら、横浜市の目指す『協働的・探究的な学びを深め、多様性を尊重する』「GIGA」な子どもを育てるため、保護者の方のご協力を得ながら、今後も学校の教育活動を進めてまいります。